



多文化グローバル ロシア語





Марина Владимировна
Кузнецова
(マリーナ・ヴラディーミロヴナ
・クズネツォーフ) 先生

【自己紹介】

こんにちは。私の国籍はロシアです。福島的生活はもうそろそろ20年になります。福大ではロシア語関係の科目、経済英語演習と比較社会論の講義などを担当させていただいています。学内ではファーストネームの「マリーナ」で呼んでもらっていますが、「クズネツォーフ」の苗字とロシア人の本名に欠かせない父称の「ヴラディーミロヴナ」と合わせると、「海」(マリーナ)の「世界を征服する父」(ヴラディーミロヴナ)の鍛冶屋の女性(クズネツォーフ)になります。どうぞよろしく願いいたします。

【先生からのメッセージ】

2016年度後期から既存の「特演 実践ロシア語演習I」は、履修内容と目標が新しく生まれ変わり、ロシアのハバロフスク地方に短期海外研修に行くための準備の第一段階に当たる科目になります。今現在、ハバロフスク市、コムソモリスク・ナ・アムール市の大学機関や企業など、その他関係者の協力を得て、2017年の8-9月頃に現地に調査、企業見学や現地スタッフとの共同作業体験など、語学研修、現地の様々な人々、ロシア人、原住民のナナイ人など、現地で働いている日本人との交流を含む実践学習が実現できるようにプログラムの作成・打ち上げに励んでいます。従来ロシア語関連科目の履修経験有り無しにかかわらず、2016年度後期と2017年度前期に特演の実践ロシア語演習IとIIを受講した上、国際地域社会において課題探求・解決能力を身につけ、グローバルな視点から活動できるようになりたい学生にこのプログラムへの参加をお勧めします。





【今後へ】

2017年ロシア・ハバロフスク地方短期海外研修の実現に向けて、2016年2月28日から3月6日にハバロフスク市、コムソモリスク・ナ・アムール市、シカチ・アリャン村に視察・打ち合わせに行ってきました。短期海外研修に行く予定の暖かく気持ちの良い時期とは異なり、2-3月のハバロフスク地方は、寒くて、雪も積もり、河川も凍っている状態でしたが、アジアにあるヨーロッパの街、ハバロフスク、自然に囲まれている産業の地、コムソモリスク・ナ・アムールとアムール川沿いの住民の村、シカチ・アリャンってどんなところなのかを皆さんに少しでも理解してもらうために、その際に撮った写真をいくつか紹介します。







Type to enter text

МОСКОВСКО-АМУРСКИЙ

УНИВЕРСИТЕТ ИСКУССТВ

Спасибо

多文化グローバル ロシア語

